

# 美術館 ニュース

群馬の森

no. 202  
2025 10/1

## 響きあう絵画

宮城県美術館コレクション

Masterpieces in the Miyagi Museum  
of Art Collection  
— from Kandinsky and Takahashi Yuichi to Gutai

Resonant Painting:  
カンディンスキー、  
高橋由一から具体まで

2025年 9月13日[土] - 11月9日[日]

会場：展示室 1

休館日：毎週月曜日（ただし9月15日、10月13日、11月3日は開館）、  
9月16日、10月14日、11月4日（火）

開館時間：午前9時30分 - 午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般 900 (720)円、大高生 450 (360)円

\*（ ）内は20名以上の団体割引料金

\*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、  
群馬県民の日（10/28）に観覧される方は無料

主催：群馬県立近代美術館、宮城県美術館、朝日新聞社

協力：カトーレック株式会社

19 81年、仙台市に開館した宮城県美術館は、同館のコレクションの原点である高橋由一をはじめ、明治から昭和に至る充実した絵画作品を収蔵しています。エッセイ「きまぐれ美術館」で知られる、画廊主で作家の洲之内徹が残した「洲之内コレクション」には、彼が決して手放さなかった伝説的な名品や、コレクターと作品との唯一無二の物語が含まれています。また、海外作家のコレクションでは、カンディンスキー、クレーと表現主義の画家たちの作品が、コレクションの個性を豊かに形作っています。戦後の絵画では、一大潮流となった抽象画や、関西の前衛グループ「具体」の作家などが、熱気に満ちた激動の時代を浮かび上がらせます。宮城県美術館を代表する名品が、当館の展示室に勢ぞろいする、またとないチャンスが訪れます。



1



2



3

- 1 ヴァシリー・カンディンスキー  
《「E.R.キャンベルのための壁画No.4」  
の習作（カーニバル・冬）》1914年
- 2 長谷川瀧二郎《猫》1966年  
洲之内コレクション
- 3 桂ゆき《婦人の日》1953年  
※作品はいずれも宮城県美術館所蔵

### 【関連事業】

◎講演会 申込不要、要観覧券

10月26日（日）午後2時 - 3時30分

「宮城県美術館コレクションで編む近代美術史—その魅力—」

講師：加野恵子氏（宮城県美術館学芸部長）

場所：2F講堂

◎学芸員による作品解説会 申込不要、要観覧券

9月28日（日）、10月15日（水）午後2時 - 3時

場所：展示室 1

◎群馬県立女子大生によるワークショップ 協力：群馬県立女子大学奥西ゼミ

①「猫」の絵付け体験 要申込、各回先着25名、参加無料 ※申し込み方法などの詳細はホームページをご覧ください。

日時：11月8日（土）午前10時～、11時～

場所：アトリエ

②「コラージュを楽しもう！」 申込不要、参加無料

日時：11月8日（土）午後1時～3時

場所：アトリエ

③「選んで書こう！好きな作品」 申込不要、要観覧券

日時：会期中随時

場所：展示室 1 及びギャラリー

【同時開催】 水野晔 視覚の層 | 絵画の層 9月13日（土）～12月16日（火） 場所：展示室 4・5 ※詳細は4頁でご紹介しています。

# 水野 暁 視覚の層 | 絵画の層

Akira Mizuno: Layers of Vision | Layers of Painting

2025年9月13日[土] - 12月16日[火]

会場：展示室 4、5

休館日：毎週月曜日（休日の場合はその翌日、ただし 11/25、12/8、12/15 は開館）、11/10 ~ 20、12/1 ~ 5、12/11

開館時間：午前9時30分 - 午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般300(240)円、大高生150(120)円

\*（ ）内は20名以上の団体割引料金

\*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日(10/28)に観覧される方は無料

主催：群馬県立近代美術館

協力：神戸秀岡気学研究所(KOIAS)、榛名湖アーティスト・レジデンス

**水**野暁は1974年、群馬県東吾妻町に生まれ、現在も同地を拠点に活動を続ける画家です。水野と同じ年に誕生した当館では、2014年、開館40周年を記念するグループ展「1974年に生まれて」において初めて水野の作品をまとめた形で紹介しましたが、今回の個展では、それ以降のおよそ10年間に制作された未発表作品を含む近作、新作を中心に、代表作を加えた50点の作品を展示します。絵を描き始めた幼少期から新たな表現に挑み続け50歳を越えた現在まで、テーマや表現方法によって分けられた6つの章を通して水野の作品展開をご覧ください。

水野は多摩美術大学大学院修了後、スペインへの留学を経て、2005年、約10年ぶりに故郷に戻りました。それからの水野は、幼い頃から慣れ親しんだ山や川、樹木など故郷の風景を3年から4年かけて大画面に描くスタイルで制作を続けてきました。水野は常に現場に通って対象の前にキャンバスを立て、その時々に見たもの、感じたことを画面に描き重ねていきます。完成した作品には季節の移り変わりや年月の経過が凝縮され、水野が五感で感じとったリアリティがとらえられるのです。現在は、榛名湖の水面をモチーフに2022年9月から描き始めた150号の画面に取り組んでおり、本展ではその未完の作品が初公開されます。

焦点や解像度を変えて対象を見つめ続ける水野の視覚は絵具の層となって画面に積み重なり、やがて写実を超えたリアルな存在を画面に出現させます。近年ますますリアリティの強度を高めている水野の今の表現を、ぜひ体感してください。



《Surface Layers and the Depth / 榛名湖》 2022年- (2025年6月26日撮影)

## [関連イベント]

### ● クロストーク

松山聖央(岡山県立大学准教授、神戸秀岡気学研究所(KOIAS)メンバー) × 水野 暁  
9月15日(月・祝) 14:00~15:30 当館2階講堂  
定員200名 [要観覧券・申込不要]

### ● アーティストトーク

水野 暁  
11月3日(月・祝) 14:00~15:30  
当館2階講堂 定員200名  
[要観覧券・申込不要]  
※トーク終了後、サイン会を行います。

### ● ドローイング+パフォーマンス

ハラサオリ(美術家、振付家、ダンサー) × 水野 暁  
12月13日(土) 11:00~/14:00~/16:00~  
(各回20分程度) 展示室内  
[要観覧券・申込不要]

### ● 学芸員による作品解説会

10月12日(日)、11月26日(水)  
各日とも14:00~14:40 展示室内  
[要観覧券・申込不要]

## Topics

### 設備更新工事のための休館のお知らせ

休館期間：2025年12月17日～2026年9月中旬(予定)

**当**館ではこのたび、2030年までに県有施設を100%LED化し、脱炭素化により温室効果ガス排出を削減するという群馬県の施策の一環として、館内のすべての照明設備をLED化することになりました。この工事のため、「水野暁」展および群馬県書道展の終了後、12月17日から全館休館に入ります。再開は2026年9月中旬を予定しています(工事の進捗状況によっては休館を延長する場合があります)。

当館ではすでに事務室や収蔵庫の一部はLED化されていますが、今回の工事により展示室で使われている蛍光灯やスポットライトを含めすべてがLED照明に更新されます。

約9カ月におよぶ休館中には、空調設備、給排水設備の更新工事を行う予定です。空調設備については、2021~22年に本館部分の更新を行いました。今回は残る新収蔵庫棟、現代美術棟の更新工事となります。給排水設備については開館以来50年以上経過し老朽化した配管を交換するとともに、トイレなど衛生設備もリニューアルする予定です。

当館は2021年以来たびたび改修工事のために休館し、皆様にはご迷惑をおかけしていますが、磯崎新設計によるこの素晴らしい美術館建築を今後も安心安全に利用していただくために必要な工事となりますので、どうぞご理解ください。



## コレクション展示

## [展示室 2・6]

## ■日本と西洋の近代美術Ⅲ 9/13～12/16

当館の所蔵作品の中からモネやルノワールなどの印象派から20世紀前半の西洋近代絵画、群馬ゆかりの作家や明治から昭和を代表する作家たちによる日本近代洋画ならびに彫刻を展示します。



マルク・シャガール  
《世界の外はどこへでも》  
群馬県企業局寄託作品

## [展示室 3]

## ■現代の美術Ⅱ 9/13～11/9

多彩な表現による20世紀後半以降の美術を紹介します。



モーリス・ルイス  
《ダレット・サフ》

## [展示室 7 山種記念館]

## ■生を見つめて 9/13～10/26

## ■上州の山を描く 10/28～12/16

「生を見つめて」では、東京大空襲で亡くなった、太田出身の福田元子による花鳥を細やかに描いた作品など命をみつめる作品を、「上州の山を描く」では、赤城山、榛名山、妙義山、谷川岳といった群馬の山々を描いた作品をご紹介します。



福田元子《木蓮》

## ◎連続講座のお知らせ \*申込不要、要観覧券

『インクルーシブアート研究—美術館をだれもが楽しむために』  
各日午後2時～2時間程度 / 2階講堂

- ① 9月21日(日)「違う視点を持ち寄ることで見えてくるもの」  
講 師: 田中みゆき(キュレーター、アクセシビリティ研究、社会福祉士)
- ② 10月30日(木)「美術館アクセシビリティ研修—いつでも、どこでも、だれでもアート鑑賞を楽しむには?」  
講 師: 三輪途道(彫刻家) ほか
- ③ 11月2日(日)「作家、当事者、触図制作者、みんなで一緒につくる触図(滋賀県立美術館コレクションの触図制作について)」  
講 師: 吉川紀子(滋賀県立美術館エデュケーター)、小川真美子(点字・触図工房 BJ)

主 催: ①③群馬県立近代美術館 ②群馬県障害者芸術文化活動支援センター  
こ・ふぁん & 群馬県立近代美術館

協 力: ぐんまインクルーシブアート環境創造プロジェクト実行委員会

## M u s e u m | N e w s

## 友の会だより

## ミュージアム・コンサートのお知らせ

～「響きあう絵画」によせて～

日 時: 2025年10月19日(日) 17時～18時

場 所: 群馬県立近代美術館 1階 エントランスホール

主 催: 群馬県立近代美術館友の会

今秋、群馬県立近代美術館で開催する展覧会「響きあう絵画」によせて、フォルテピアノ奏者の小川加恵さんによる、20世紀初頭のフランス製ピアノ(プレイエル1911年製造、モデル3bis)を使った演奏をお届けします。友の会会員だけでなく、どなたでも参加していただけます。展覧会とあわせてぜひご鑑賞ください。\*申込不要、入場無料、展覧会は要観覧料

## Museum : Shop

## ◆ミュージアムショップより

\*ミュージアムショップでは9/13から開催される展覧会「水野 暁 視覚の層 | 絵画の層」にあわせて水野暁オリジナルグッズを各種取り揃えております。ご観覧の折にはぜひ、ミュージアムショップにお立ち寄りください。また展覧会カタログ(11/1刊行予定)も店頭、お電話、FAX等でご予約を承っております。お気軽にお問い合わせください。

## \*画像上段から時計回りに

トートバッグ ¥1,650、ポストカード(6種) 各 ¥220、クリアファイル(2種) ¥550、マグネット(杉の木・浅間山) 各 ¥770、マグネット(りんごと蝶) ¥660、缶バッジ(りんごの木) ¥330



お問い合わせ: 群馬県立近代美術館 友の会 TEL 027-346-5560(館代表) / FAX 027-346-4064

# M THE 16TH GUNMA BIENNALE FOR YOUNG ARTISTS 群馬青年ビエンナーレ 2025 報告

16 回目となる今回は 244組 (247名) から 342点の応募があり、そのうち 44組 (45名) 44点が入選しました。6 月におこなわれた入賞審査の結果、大賞 1 点、優秀賞 1 点、奨励賞 5 点、ガトーフェスタ ハラダ賞 1 点の計 8 点が入賞となりました。



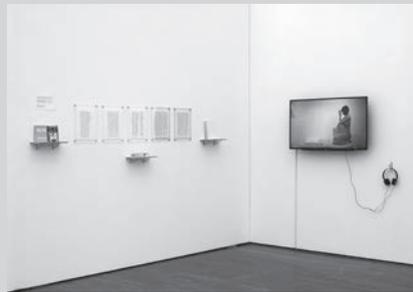
[大賞] 川村摩那《ESSAYS》



[優秀賞] ちえんしげ《白菜に書かれた小文字》



[奨励賞] 安藤由莉  
《Pedestrian bridge and X mark》



[奨励賞] 乾真裕子  
《私はこの世に歓迎せられて生まれてきた》



[奨励賞] 河合ひかる《パンゲア大陸へ》



[奨励賞] 島田堇零  
《Utsuwa- [roof/door]》



[奨励賞] 八田亜美  
《Kantha yellow》



[ガトーフェスタ ハラダ賞] 西久松友花《Umwelt》

## [群馬青年ビエンナーレ 2025・群馬青年ビエンナーレ 50周年記念特別賞表彰式]

7月19日に開催された表彰式では、本展の受賞者に加え、本展の50周年を記念し創設された「群馬青年ビエンナーレ 50周年記念特別賞」の受賞者にも賞状が授与されました。特別賞を受賞された郭家伶さんには、来年度当館の現代美術棟で個展を開催していただく予定です。



大賞受賞者 川村摩那さん



特別賞受賞者 郭家伶さん